

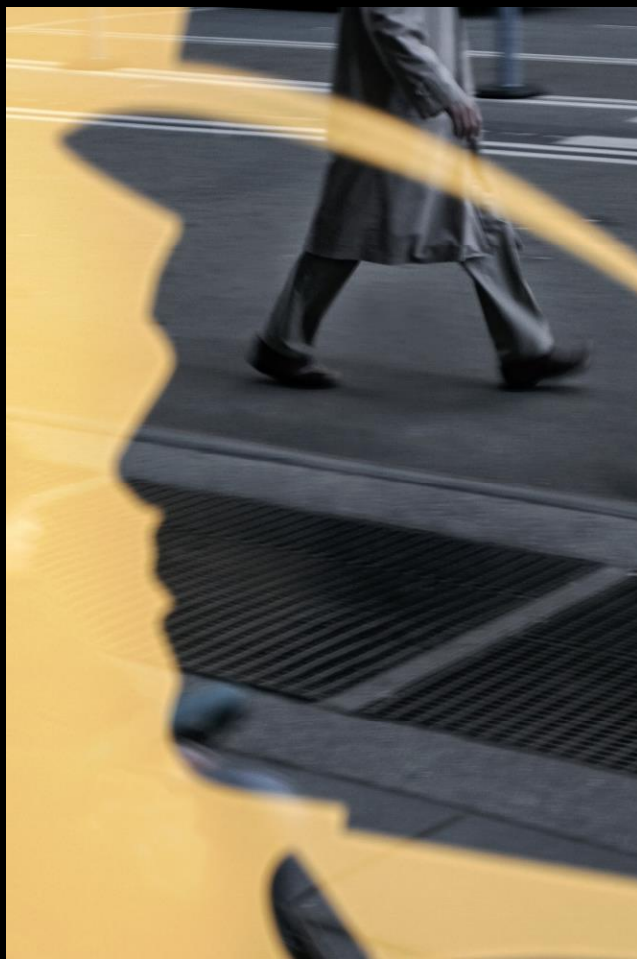
オランダ×千葉 撮る、物語る

ーサラ・ファン・ライ&ダヴィット・ファン・デル・レーウ×清水裕貴

関連企画



#BackStageCaravan ©Makoto Ebi



サラ・ファン・ライ《黄色い人々、ニューヨーク》2022年、
インクジェット・プリント

©Sarah van Rij



千葉県立美術館

WINTER JAZZ IMPROVISATION CONCERT

令和7（2025）年

12/14

日

①13:30—14:20

②14:40—15:30

■出演者

スガダイロー (piano)

幼少の頃よりクラシックピアノに親しむ。生物学者を目指し大学で生物学を専攻し学ぶも、その道を断念しピアニストに転向。当時客員教授だった山下洋輔に教えるを請うため洗足学園短期大学ジャズコースに第1期生として入学。卒業後バークリー音楽大学に4年間留学。バークリー音楽大学の同期生に、同じくジャズピアニストの上原ひろみがいる。帰国後は「渋さ知らズ」や「鈴木勲OMA SOUND」で活躍し、自己のトリオでの活動のほか、ジェイソン・モラン(en:Jason Moran)、田中泯、夢枕獏、京極夏彦、飴屋法水、近藤良平(コンドルズ)、酒井はな、contact Gonzo、向井秀徳(ZAZEN BOYS)、七尾旅人、中村達也(LOSALIOS、ex:BLANKEY JET CITY)、U-zhaanらと即興対決を行うなど、様々なアーティストと共演している。

スガダイロー Official Website : <https://sugadairo.blogspot.com/?m=1>

類家心平 (trumpet)

青森県八戸市に生まれ。版画家の次男としてこの世に誕生する。小学校のブラスバンドでトランペットと出会う。高校卒業後海上自衛隊音楽隊でトランペットを担当。退官後に上京し高瀬龍一氏にジャズトランペットを師事。2004年SONYJAZZからジャムバンドグループ「urb」でデビューする。その後「菊地成孔ダブセクステット」や「DC/PRG」に参加しフジロックフェスティバル等の出演で注目を集める。自身の名義では「RS5pb」でアルバムをリリース、海外のジャズフェスティバルでも高い評価を得る。ピアニスト中嶋錠二とのデュオのアルバムもリリース。アニメと映画版の「坂道のアポロン」ではトランペットの吹き替えを担当する。大友良英率いるバンドONJQではヨーロッパ8カ国のツアーに参加し各地で好評を得る。

Shinpei Ruike Official Website : <https://ruikeshinpei.com/>

池澤龍作(drums,objects)

幼少の頃より多種多様なジャンルの音楽に親しみ、ライブで体感した即興音楽やジャズをルーツに自由な発想、感覚で表現する音楽家を自らも志すようになる。古澤良治郎氏に師事。洗足学園JAZZ科卒業(1期生、大坂昌彦氏に師事)、アメリカ留学を経て帰国後は様々な音楽家、ダンサーや舞踏家、画家などの多彩な表現者と共演を重ねる一方、録音(アーティストのサポート・映画・TV・CM・ゲーム)にも携わる。現在、スガダイローと東保光とのアブストラクトピアノトリオ「我楽」、ケイタイモ(b,ex BEAT CRUSADERS)主宰プログレッシブビッグバンド「WUJA BIN BIN」、伴瀬朝彦と高橋保行の双頭ポップスバンド「cooking songs」などに参加。その他、多くのセッションで活動中。2012年 1st ソロ・アルバム「Ikezawa Ryusaku」リリース。

Ryusaku Ikezawa Blog & Schedule : <https://ameblo.jp/giev-rutang/>

「オランダ×千葉 撮る、物語る」は、オランダの新進気鋭の写真家、サラ・ファン・ライとダヴィット・ファン・デル・レーウの作品を日本で初めて紹介する展覧会です。あわせて、千葉を拠点に活動する写真家・小説家である清水裕貴のアプローチを通して、千葉ゆかりの古写真のコレクション(松戸市戸定歴史館)や、当館の絵画コレクションを紹介します。本展覧会の関連事業であるジャズコンサートでは、展覧会出品作品から触発された、プロミュージシャンによる即興のサウンドインスタレーションが展開されます。国内外で活躍する3人のミュージシャンによる当館初のジャズコンサートを、展覧会と併せてぜひお楽しみください。

日時：12月14日(日) ①13時30分～14時20分 ②14時40分～15時30分 ※13時開場予定

会場：千葉県立美術館 第7展示室

参加費：無料

定員：200名(椅子席100名) ※1回目と2回目の間で椅子席の入替を行います。

申込：当日受付(先着順)

※申込方法の詳細については、次第決まり当館HPにて情報を更新いたします。

■オランダ×千葉 撮る、物語る

—サラ・ファン・ライ&ダヴィット・ファン・デル・レーウ×清水裕貴

会期：令和7年11月15日(土)ー令和8年1月18日(日)

開館時間：9時～16時30分(入場は16時まで)

休館日：月曜日(但し11月24日(月)、1月12日(月)は開館)、11月25日(火)、

12月28日(日)ー1月4日(日)、1月13日(火)

入場料：一般 1000(800)円、高大生 500(400)円

* () 内は20名以上の団体料金、中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は無料